

介護職リーダー育成プログラム

# 介護の魅力発信 プロジェクト

【通学 3 日目】 13:30~16:30

# 実践演習 「介護の魅力発信プロジェクト」

課題１：グループで介護業界の魅力・やりがいを５つにまとめる。

方法：ブレインストーミングで介護業界の魅力・やりがいを挙げ、次にＫＪ法でアイデアを分類・統合・整理しながら、話し合いで５つにまとめます。

## ブレインストーミングのルール

他人の意見に対する批判は絶対にダメ！

自由に発言すること！話が飛んでも発言を聞いてください。

質より量。とにかくたくさん意見を出すこと！

ある発言にアイデアを追加するなどひとつの発言から発展させる！

ブレインストーミングは脳の嵐。脳を猛烈に働かせて会話を楽しむこと！

本題からの脱線しすぎに注意！

ブレインストーミング（ブレスト）には、たくさんの意見が出せる、多角度から多様な意外な意見が出せる、コミュニケーションが活性化する、先入観や固定観念から脱却できるなどのメリットがあります。

## ブレインストーミング

① 自分のアイデアを付箋に 20 枚目標に書き出してください。

② グループでブレインストーミングを始めてください。

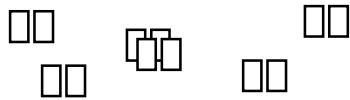
## KJ法の手順

準備物：付箋（１人５０枚程度）、模造紙、Ａ４用紙、マジック

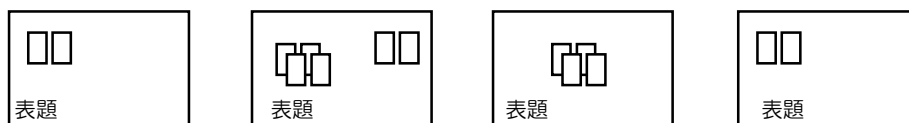
①付箋を机の上にバラバラに広げる

②付箋をみて同じ内容のものを集め「小グループ」にまとめる。

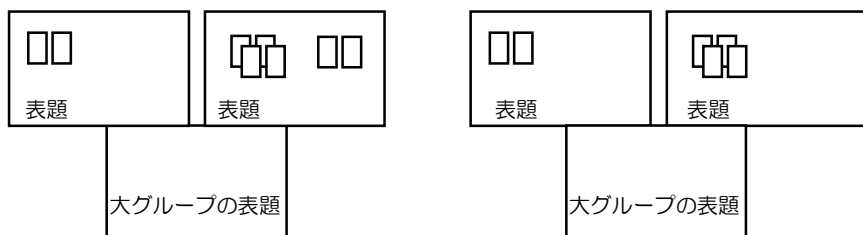
大きくまとめない。少しでも異なる内容ならばまとめない。



③②の「小グループ」をみて、似通った内容の小グループをまとめ「中グループ」をつくる。できた「中グループ」はＡ４用紙の上におき、用紙に表題を書く。



④③の「中グループ」をみて、似通った内容の中グループをまとめ「大グループ」をつくる。できた「大グループ」をまとめる表題を新しく書く。



⑤１０程度の大グループに分かれたら、重要度に順位をつける。

最重要だと思う大グループに５点、次に重要なものは４点、・・・というように５点から１点まで一人ずつつけ、合計得点が高い５つを選ぶ。（一人５つしか点数をつけることができない）

課題2：課題1でまとめた介護業界の魅力・やりがいについて、新しい生活様式の中で外部発信するための方法をまとめ、発表する。

①自分たちが介護業界の魅力・やりがいを外部発信するために実際に何をするか考える。

（例）介護教室を開催する。小学校で介護の魅力を伝えるための寸劇を行う。

②実際に行う内容が決まったら、実施に向けた手順や計画書を作成する。

### 【計画書作成のヒント】

「5W1H」に注意する

「When：いつ」「Where：どこで」「Who：だれが」「What：何を」「Why：なぜ」「How：どのように」

「5W1H」に加え、「7W2H」にも注意する

7W2Hは5W1Hに「Which:どちら」「Whom:だれに」「How much:どのくらい」の2W1Hを加えたもの

Which：比較や選択肢がある場合に、どちらであることを示すもの

Whom：対象を示す、ターゲットを明確にしながら複数人の立場や関係性を説明するのに重要なポイント

How much：金額、量、頻度や範囲を表現するのに使う、物事の程度や加減も、伝達に欠かせない事項